

# 丸子地域自治センター

## 平成30年度 重点目標

- 1 参加と協働によるまちづくり
- 2 人と環境に優しい安全・安心なまちづくり
- 3 現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興
- 4 産業が育つ地域づくり

重点目標	参加と協働によるまちづくり			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第1編 自治・協働・行政 第1章 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現 第2節 地域内分権による地域の自治の推進			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 ひと・地域の輝き戦略 施策体系 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(3) 市民満足度を向上させる人・組織の改革 カ 地域内分権による地域の自治の推進						
現況・課題	地域内分権による地域の自治のさらなる推進を目指し、「丸子まちづくり会議」の運営基盤の確立に向けた支援を継続するとともに、パートナーシップ協定等による市民活動団体や住民が中心となって実施される事業の支援等を通じ、自治意識の高揚や市民協働に対する機運の醸成を図る必要があります。また、建築後39年を経過した自治センターの耐震補強工事が課題となっています。						
目的・効果	丸子まちづくり会議における活発な事業展開や市民及び各種団体の連携による地域資源を活用した事業の実施は、地域課題の解決や地域活性化に地域住民が一体となって取り組む住民自治の仕組みづくりの構築を推進するとともに、地域の個性や特性を生かした魅力あるまちづくりにつながります。また、自治センターの耐震補強工事を進めることにより来庁者や地域住民の安心感向上につながります。						
		期間・期限 (いつ・いつまでに)	数値目標 (どの水準まで)	中間報告 (目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告 (目標に対する達成状況・達成度)		
①	【自治センターの耐震化】 自治センターの耐震化に向けた取り組み	4月～3月	実施設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強及び改修工事の内容、スケジュールについて、議会及び地域協議会へ説明し、意見をいただいた。</li> <li>平成31、32年度の工事に向けて、実施設計に向けた概要説明及び予算化の準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震補強及び改修工事の内容、スケジュールについて、議会及び地域協議会へ説明し、意見をいただいた。</li> <li>平成31、32年度の工事に向けて、実施設計業務委託の発注をした。</li> </ul>		
②	【丸子まちづくり会議の運営基盤づくりに 向けた連携・協働の取り組み】 各地区会議事業への支援	4月から3月	設立した3地区会議による事業への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり会議役員会への出席 (5/14、6/12、8/17、9/13)</li> <li>5/29 丸子まちづくり会議総会</li> <li>8/12 長瀬地区会議 (消防夏祭り)</li> <li>8/17 まちづくり会議役員・協働推進員会議</li> <li>9/30 長瀬地区会議先進地視察 (栄村)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり会議役員会へ出席 (毎月1回) し、情報共有を図った。</li> <li>5/29 丸子まちづくり会議総会。</li> <li>8/12 長瀬地区会議 (消防夏祭り)</li> <li>8/17 まちづくり会議役員・協働推進員会議</li> <li>9/30 長瀬地区会議先進地視察 (栄村)</li> <li>3/12 まちづくり会議役員会に対し、行政から協働可能な事業について提案した。</li> </ul>		
③	【中心市街地の商店街活性化策の推進】 上田市・上田市商工会・丸子修学館高校によるパートナーシップ協定に基づく中心市街地活性化推進事業の実施	5月から3月	中心市街地活性化推進事業「marushuaki市」開催の拡充 ・参加団体 1団体増	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月に丸子修学館高校、上田市商工会、市による全体会議を開催し、「marushuaki市」の開催日決定 (11月17日 (土))</li> <li>新たに、若手商店街店主による「丸子トットコ会」が参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上田市・上田市商工会・丸子修学館高校によるパートナーシップ協定に基づく中心市街地活性化推進事業「第2回 marushuaki市」</li> <li>・実施日 平成30年11月17日 (土)</li> <li>(1) 丸子ファーストビル会場</li> <li>・来場者 500名</li> <li>・生徒による各地から仕入れた特産品、地元で仕入れた野菜等の販売の実施</li> <li>・新たに上丸子商店街の若手店主の団体参加により、事業の拡大が図られた。</li> <li>(2) 丸子修学館高校会場</li> <li>・来場者 100名</li> <li>・生徒の栽培による野菜の販売の実施</li> </ul>		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	人と環境に優しい安心・安全なまちづくり		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 結婚・子育てしたい戦略 ほか 施策体系 きめ細やかな出産・子育て支援推進 ほか		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい、住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア、移住・定住・交流人口を増やす体制の確立 ほか					
現況・課題	上田地域広域連合が計画している「資源循環型施設建設」の実現に向け、また施設の長期利用を図るため、更なる可燃ごみの減量化に取り組む必要があります。併せて、老朽化が進む丸子クリーンセンターの施設負担軽減を図るためにも、地域住民のごみ減量化に対する理解を深める必要があります。また、公営住宅については、住環境整備の促進を図る必要があります。交通量の多い通学路の歩道整備や保育園統合に伴う周辺道路の整備や安全確保に向けた道路整備と合わせ、国庫補助事業の制度に基づき、地域の貴重な観光資源である千曲川等の河川を活用した魅力創出のための河川空間整備事業、治水対策を目的とした河川整備事業による安全・安心なまちづくりを推進する必要があります。					
目的・効果	「資源循環型施設」が稼働するまでの間、可燃ごみの減量化により現施設の負荷軽減が図れ、施設延命化と経費削減が期待できます。また、ごみ減量化、資源循環型社会を進めることで、住民のリサイクル意識が高まるとともに、環境への負荷軽減が図れます。市営住宅の改修推進により、公営住宅の長寿命化が図れるとともに入居率の向上が見込まれます。道路や歩道、河川の整備により交通の利便性向上や歩行者の安全確保や内水対策と水辺環境整備の充実が図られることで、安心・安全で住みやすいまちづくりにつながります。					
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	【可燃ごみの削減】 (1) 雑がみ回収袋の利用促進 (2) 生ごみ堆肥化基材（ばっくん）の利用拡大 (3) 生ごみ減量化機器に対する補助金制度の周知 (4) 市のごみ減量化施策の啓発 (5) 草木等の再資源化	4月～3月	(1)～(4) 丸子地域で排出される可燃ごみ（家庭・事業系）の量を前年より73トン削減 (5) 自治会等が駆除したアレチウリ等を再資源化（年間4トン程度）	可燃ごみの削減量 83.7トン（9月末）・進捗率115% アレチウリ等の資源化量 880kg（9月末）・進捗率22%	可燃ごみの削減量 19.8トン（30年度末）・達成率27% アレチウリ等の資源化量 1,520kg（30年度末）・達成率38%	
②	【市営住宅の住環境整備の促進】 市営中丸子団地9棟（132戸）のうち、F棟からG棟の24戸の給湯器設置・給湯管整備を継続実施し、老朽化したバランス釜の交換やキッチン等の給湯環境を整備。	6月～3月	F棟からG棟 24戸の整備	社会資本整備総合交付金事業 交付申請・交付決定済 工事発注済（F棟・G棟 24戸） H30.8.3 入札 H30.8.9 契約（工期H30.8.9～H31.1.31） 事業進捗率 40%	社会資本整備総合交付金事業 実績報告提出済 事業完了（F棟・G棟 24戸） H30.8.3 入札 H30.8.9 契約（工期H30.8.9～H31.1.31） H31.1.15 竣工 H31.2.26 県完了検査合格 進捗率 100%	
③	【安全性・利便性向上のための道路整備促進】 (1)（街路） 芦田丸子線道路改良事業に伴う測量・設計業務委託 (2)（都市再生）上丸子石井線整備事業の測量・設計等業務委託及び工事 (3)（公安）金井線道路改良事業に伴う測量・測量業務委託	(1)10月～3月 (2)9月～3月 (3)10月～3月	(1)測量・設計委託 L=300m (2)測量・設計委託 L=500m 工事L=250m (3)測量・設計委託L=210m	(1) 芦田丸子線 用地測量業務委託 L=380m（交差点部取付道路含む延長）を10月11日開催の建設業者指名委員会に向けて設計中（入札日 11月16日予定） (2) 上丸子石井線 測量・設計業務 受託業者契約済み及び補償算定業務 設計完了 (3) 金井線 測量設計業務、補償算定業務設計完了	(1) 芦田丸子線 用地測量業務委託発注 L=380m（繰越H31.6月完了予定） (2) 上丸子石井線 測量設計業務、補償算定業務発注（繰越H31.5月完了予定）本工事L=250m（繰越H31.6月完了予定） (3) 金井線 測量設計業務、補償算定業務発注（繰越H31.8月完了予定）	
④	【長瀬・石井地区の治水対策及び河川空間利用による地域活性化に向けた千曲川・依田川合流地点の河川環境整備】 (1)かわまちづくり事業 測量・詳細設計・河川占用業務委託 (2)かわまちづくり事業実施計画の作成 協議会及び部会の開催	(1)9月～3月 (2)5月～3月	(1)測量・詳細設計・河川占用業務委託 N=一式 (2)協議会 年2回開催 部会 年3回開催	(1) 測量・詳細設計の実施に向けて国、県との協議を進めている。 (2) 協議会、部会の開催にむけて調整中	(1)関係機関と協議中 国土交通省千曲川工事事務所 H30年12月詳細設計完了 依田川・矢ノ沢川 上田建設事務所 河川改修について検討 国土交通省及び県・市の3者協議中により測量・詳細設計・河川占用業務委託を繰越。（H31年上四半期に発注予定） (2)関係機関と協議中であるため、協議会及び部会は休会中。	
⑤	【上田圏域と松本圏域他の主要幹線道路等の整備促進】 (1)国道254号（平井・荻窪・和子）バイパス (2)荻窪丸子線（歩道等整備事業） (3)芦田大屋（停）線（歩道等整備事業） (4)別所丸子線（歩道等整備事業） (5)丸子東部インター線（歩道等整備事業）	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月 (5)4月～3月	(1)～(5) 県事業で実施中であり、早期完成に向けて県と連携して協力していく	(1) 国道254号（H30.5.18-平井BP H30年度の計画説明会開催）（H30.6.21-荻窪BP 事業計画説明会開催及び詳細設計調整会議開催2回）（9月-和子BP工事発注済） (2) 下和子自治会長現地立会（H30.6.28） (3) H30年度 工事説明会開催（H30.9.21） (4) 用地交渉中 (5) 水田の耕作終了後、工事発注の見込み	(1)・平井BP-L=980m 用地補償を進めた。 ・荻窪BP-L=1,660m 用地測量の実施。（H31より用地買収予定） ・和子BP-L=1,760m H31年6月暫定供用8月完成予定 (2) 予算確保ができず未対応。 (3) 本工事L=60m工事発注（繰越） (4) 本工事L=80m完了、用地補償を進めた。 (5) 本工事L=360m工事発注（繰越）	
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		

重点目標	現代のライフスタイルにあった丸子温泉郷の振興			部局名	丸子地域自治センター	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 訪れたい・住みたいうた戦略 施策体系 地域資源を生かした知名度アップと交流促進		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立 ほか						
現況・課題	鹿教湯温泉、大塩温泉、霊泉寺温泉からなる丸子温泉郷は、かつて国民保養温泉地として豊かな自然や医療機関との連携などの地域特性を活かし、多くの宿泊客で賑わいましたが、温泉保養事業の終了など、時代の変化により観光客の減少傾向が続いています。こうした状況の中、丸子温泉郷では若い世代の旅館経営者などが中心となった複数のグループが立ち上がり、「地域の活性化」という共通目的の実現に向けた様々な活動が始まっています。しかし、こうした活動をいかに誘客に結び付けるかが課題となっています。						
目的・効果	「健康の湯」「回復力の湯」として、国民保養温泉地指定の健全な保養地であるイメージを大切にしながら、現代のライフスタイルにもあった滞在型観光の魅力をPRし、来客数増加を目指します。併せて温泉効能を活用した生活習慣病予防などの各種「健康づくり事業」の実施や活動団体の支援を通じ、からだも心も元気な「健幸都市うただ」の実現に向けた取り組みを推進し、地域活性化を図ります。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
① 【温泉を活かした地域活性化事業の推進】 (1)「健康の里」と現代のライフスタイルにあった温泉地を目指す「環境省」（新湯治プラン）の推進 (2)鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトマスタープランⅡに基づく取り組みへの支援 (3)霊泉寺温泉JUKUプロジェクトにおける取り組みへの支援による丸子温泉郷の誘客の推進	(1)7月から3月 (2)4月から3月 (3)4月から3月	(1)「環境省」「日本理学療法士協会」等ネットワークを生かした「健康と温泉」に関する講演会の開催 (2)「アクアポールエクササイズ」「ポールを使ったウォーキングフェスタ」各事業への支援による参加者対前年度比5%増 (3)「ネイチャートレッキング」「クリーンフェスタ」「ワイルドフィットネスチャレンジ」各事業への支援による参加者、宿泊率対前年度比5%増	(1) ○5月、9月に事業の協力団体である鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトと開催に向けての協議 ○9月に「環境省」「日本理学療法士協会」と事前打ち合わせの実施 (2) ○「アクアポールエクササイズ」周知の支援 ・9月までの実績 4月 11名、5月 13名、6月 14名、7月 12名、8月 15名、9月 12名 計77名 ※昨年59名 ○「ポールを使ったウォーキングフェスタ」開催に向けた支援 ・実行委員会参画による開催内容の協議 11月3日（土）開催に決定 (3) ○4月22日（日）「ネイチャートレッキング」開催への支援 ・参加者86名 宿泊者20名 ※昨年 参加者54名 宿泊者12名 ○7月7日（土）「クリーンフェスタ」雨天中止 ○7月14日（土）「ワイルドフィットネスチャレンジ」開催への支援 ・参加者43名 宿泊者16名 ※昨年 参加者35名 宿泊者13名	(1) ○三者協定の取組として「温泉を活かした健康づくりフォーラム」の企画、実施 ・実施日 平成31年2月15日（金） ・テーマ 「歩いて楽しい温泉地」 ・講師 パネリスト 3名 コーディネーター 1名 ・参加者 107名 (2) ○「アクアポールエクササイズ」開催の支援 ・主催者との定例会で運営に関して協議 ・3月までの参加者実績 計146名 参加者対前年度比29%増（昨年度113名） ○「ポールを使ったウォーキングフェスタ」開催の支援 ・実施日 平成30年11月3日（土） ・実行委員会のメンバーとして企画段階から参画 ・昨年に引き続き迫田孝也さんをゲストに開催 ・参加者 163名 参加者対前年度比1%減（昨年度165名） (3) ○「ネイチャートレッキング」開催への支援 ・実施日 平成30年4月22日（日） ・会議へ参加し主催者と協働で企画運営 ・参加者 86名 参加者対前年度比59%増 宿泊者20名 宿泊率対前年度比67%増（昨年度 参加者54名 宿泊者12名） ○平成30年7月7日（土）「クリーンフェスタ」雨天中止 ○「ワイルドフィットネスチャレンジ」開催への支援 ・実施日 平成30年7月14日（土） ・会議へ参加し主催者と協働で企画運営 ・参加者 43名 参加者対前年度比23%増 宿泊者16名 宿泊率対前年度比23%増（昨年度 参加者35名 宿泊者13名）			
②							
③							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	産業が育つ地域づくり		部局名	丸子地域自治センター	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第1章 次世代へつなぐ農林水産業の振興 第2節 農林業の安定的な生産体制の整備と産地化の促進		まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	戦略 上田で働きたい戦略 施策体系 農林業の稼ぐ力の創出		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革		ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立	イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり		
現況・課題	上田市初のワイナリーとなる「梔子ワイナリー」は、地域の新たな魅力や経済的な効果を生み出し、地域産業や観光振興に寄与するものと期待されます。また、農商工連携による地域の6次産業化による新事業の創出が求められていることから、高品質な西洋梨の産地化を目指して設立した「西洋梨産地化プロジェクト」を推進し、事業としての確立を目指していきます。					
目的・効果	高品質なワインの産地という地域資産があることから、別の農産物と連携することによる相乗効果も期待できます。西洋梨産地化プロジェクトにより生産者と加工・販売業者等との連携を図り、地域の6次産業化を構築していくことにより、地域農業及び経済の活性化が期待できます。					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① 【梔子ワイナリー着工に向けた支援】 (1) 平成30年秋着工に向け関係部署と連携を取り 遅滞なく遂行 (2) 梔子ワイナリー関連事業に伴う整備。市道陣場6号線及び丸子北御牧2号支線の道路改良の事業促進	(1) 4月～3月 (2) 9月～3月	(1) 関係課によるワイナリー調整会議の随時開催 (2) 測量・設計等委託及び用地回収 ・陣場6号線 L=100m ・丸子北御牧線2号支線 L=170m	(1) 4月から9月まで計9回に渡って、関係課と事業施行主体により、ワイナリー建設や今後予定されている造成約7haの調整について連携を図った。  (2) 7月3日 関係自治会説明会開催 8月21日 地権者説明会 9月7日 測量・設計業務委託業者決定  ※ 用地交渉等の事務・設計業務等打合せ中	(1) 9月に農地転用及び開発許可の調整を行い、予定通り10月25日梔子ワイナリー起工式が行われた。 オープンに向け12月から月1回の割合で、行政とメルシャン(株)とで、地域との共生・地域活性化等について会議を開催し検討を進めている。 また、12月に塩川地区御伊勢山地籍約7haの圃場整備に係る賃貸借契約が地権者とメルシャン(株)との間で締結するその支援を行った。  (2) 31.1.24—道路改良地権者説明会を実施。ルート(案)について賛同を得た。 ・現地へ、仮境界杭及び幅杭の設置を実施中。丸子北御牧線2号支線については、上田警察署へ交差点協議中(1回目打合せ：H31.2.13)。		
② 【国道254号線バイパス建設に合わせた農業基盤整備】 県営中山間総合整備事業(美の郷地区)の事業推進	4月～3月	事業着手した5工区(和子・梨ノ木・赤岩・日影・高梨)の事業進捗を図る	(1) 7月26日地元推進委員会総会において、計画内容が承認され、計画通り推移している又新たに2工区において事業着手	(1) 関係支部調整を進め6工区で事業の進捗を図った。 ・用水路 荻窪(頭首工1箇所L=430m) ・農道 梨ノ木(L=850m) ・農地防災 赤岩・日影(赤岩L=270m)(日影L=230m) ・集落道 高梨(L=640m) ・安全施設 入山(防火水槽40m <sup>3</sup> 箇所)完了		
③ 【ため池の防災減災対策】 団体営基盤整備促進事業(明賀池地区)の耐震化工事の実施	4月～3月	耐震化工事の完了を図る	・5月28日 地元自治会と設計協議を行い合意を得た。引き続き用地買収を完了し工事を発注する。	(1) 耐震化工事は、3月22日完成。 ・堤体補強盛土 1式 ほか		
④ 【地域の6次産業化の推進】 西洋梨産地化プロジェクト事業の推進	4月～3月	・既存販路の拡充 ・新規販売箇所3ヶ所以上 ・丸子修学館高校での栽培授業2回	・市内外の関連イベントに積極的に出向き、より付加価値のある販売について広く探った。(千本桜まつり・音楽村ルネッサンス・軽井沢アウトレット・軽井沢小リスマルシェ・梔子ヴィンヤード)など 合計42箇所 こうした結果を検証しながら、効果的な販売方法を検討し、新たに栽培する農業者3名の就農者について試験圃場により栽培講習を行った。(4月接木講習会、6月袋がけ講習会、7月誘引講習会) ・丸子修学館高校農業選択生徒を対象とした栽培授業を10月に行う予定で、そのための学校との打合せ会議を4月に2回開催した。	・市内外の物産展や食のイベントに参画し、ジャムを物販することにより周知PRを行った。(丸子産業フェスタ・紅葉まつり・梔子ヴィンヤード収穫体験・大宮タカシマヤ軒先マルシェ・姉妹都市物産展(鎌倉市)など 合計ジャム1,026個販売。54回) ・地元の洋菓子店のみならず県外洋菓子店での取扱いを図った。(千葉県洋菓子店1店舗) ・試験圃場で栽培講習を行い、新たに栽培する農業者4名の就農者が図られた。(9月収穫講習会・3月剪定講習会) ・今後の新規農業従事者発掘に向けて、丸子修学館高校農業選択生徒を対象に栽培授業を10月6日に実施した。生徒7名		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			